

県の動き 1

うちなー地域づくり大賞の募集

●うちなー地域づくり大賞

地域への貢献度が高い創意工夫した地道な地域づくり活動を通して、地域の活性化に取り組んだ団体の功績を表彰することにより、地域づくり活動及び地域づくり団体の認知度・社会的評価の向上や団体のやりがい向上のきっかけづくりを促すことを目的とした賞です。

●対象

県内で地域の活性化に取り組み、沖縄らしい優しい社会づくりの参考となる活動を行っている団体。
(例：地域づくり・ボランティア団体、NPO、自治会、民間企業など)

●募集期間

令和4年6月27日～8月5日

詳細は、県HPに掲載予定です。
たくさんの応募をお待ちしております。



地域・離島課HP

うちなー地域づくりフェスタ

県では、令和4年11月に、復帰50周年記念事業として、自治体、NPO、企業などのつながりを強化し、地域づくり団体が地域の魅力の発信を図るとともに、地域住民、企業等が主体的に地域づくりに参画するきっかけとするため、「うちなー地域づくりフェスタ」を開催します。「うちなー地域づくり大賞」は、同フェスタ内で表彰を行います。



復帰40周年記念時の表彰式

問い合わせ

地域・離島課 電話:098-866-2370 FAX:098-866-2068

県の動き 2

ハンセン病問題を 知っていますか？

■ハンセン病とは

ハンセン病は感染力の弱い細菌による感染症です。発病すると、手足などの末梢神経が麻痺し、汗が出なくなる、感覚がなくなるといった症状が現れることがあります。現在の日本の衛生状態や生活環境などを考えると、感染し発病することはほとんどなく、たとえ発病しても、早期発見と適切な治療で、後遺症を残すことなく治るようになっています。

■今なお残る偏見・差別の苦しみ

かつて沖縄県では、ハンセン病患者を療養所に収容し、隔離する施策が行われ、「ハンセン病は恐ろしい病気」というイメージが広がり、人々のハンセン病に対する偏見や差別が助長されました。そのため、病気が治り隔離政策が終わった今でも、県内2か所の療養所で153名(R4.4月末時点)のハンセン病回復者が生活し、地域にいる回復者や家族の多くは、過去を隠して暮らしています。

■一人ひとりの人権が守られる社会に向けて

ハンセン病の人権問題は今も続いており、私たちの身近には様々な偏見や差別が存在します。偏見や差別をなくすためには、正しい知識を持つこと、自分のこととして相手の気持ちを想像して試みるのが大切です。県では、6月を「ハンセン病に関する正しい知識を普及する月間」としてパネル展及び作品展、人権講演会を実施しています。ハンセン病問題を通して、私たちが暮らす社会と人権について考えてみませんか。



パネル展・
作品展

日時:令和4年6月15日(水)～7月4日(月)
場所:県立図書館

※新型コロナの状況により、イベントが中止、もしくは延期となる場合があります。

ハンセン病のことを詳しく知りたい方は…

- ・沖縄愛楽園交流会館(名護市済井出1192) TEL.0980-52-8453
- ・宮古南静園ハンセン病歴史資料館・人権啓発交流センター(宮古島市平良字島尻888) TEL.0980-72-5321

問い合わせ

地域保健課 電話:098-866-2215 FAX:098-866-2241

